

P/N PC0926A-C10

Firmware Version 1.0 Document Revision 1.3

接続仕様

本装置は Pelco-D ぷろとこるに対応したミカミ社 PTC-113 の一部機能が一般的なキーボードで使用しにくいためにコンバートする。

設定

DIP-Switch

8	7	6	5	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---

運用(PTC-113)

オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン
----	----	----	----	----	----	----	----

運用(PTC-117)

オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ
----	----	----	----	----	----	----	----

OMNICAST から

AUX 3 ON ワンプッシュフォーカス 開始

AUX 3 OFF ワンプッシュフォーカス 停止

内部ジャンパー

基板 Jumper	説明
SW1	必ず NRM の設定でご利用ください。
SW2	DIP-Switch 運用はオールオフ
SW3	通常時は NRM Firmware 書き込み時は WRITE 注)このジャンパーは絶対に電源をオフにしてから変更ください。さもないと CPU が破損します。
SW4	ショート
SW5	ショート
SW6	RS-485 終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW7	RS-422 終端抵抗 受信側の終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW8	RS-422 終端抵抗 送信側の終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW9	C2 RS-485 クローズ RS-422 オープン
SW10	C2 RS-485 クローズ RS-422 オープン
SW11	C2 RS-422 クローズ RS-485 オープン
SW12	C2 RS-422 クローズ RS-485 オープン
SW13	ノンサポート 通常はクローズ
SW14	ショート
SW15	ショート
SW16	ノンサポート RS-485 終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW17	ノンサポート RS-422 終端抵抗 受信側の終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW18	RS-422 終端抵抗 送信側の終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW19	C3 RS-485 クローズ RS-422 オープン

SW20	C3 RS-485 クローズ RS-422 オープン
SW21	C3 RS-422 クローズ RS-485 オープン
SW22	C3 RS-422 クローズ RS-485 オープン
SW23	ノンサポート 通常はクローズ
SW24	C1 または C2 どちらを使用するか選択します。 出荷時は 42/48
SW25	C3 または C4 どちらを使用するか選択します。 出荷時は 42/48

通信仕様

C1 コネクタ

Dsub-9P-メス(DTE仕様) RS-232C 双方向通信
2400bps ノンパリティー ストップビット 1

C2 コネクタ

RJ45 モジュラーコネクタ RS-422 全二重 /
RS-485 半二重 2400bps ノンパリティー ス
トップビット 1

注) C1 C2 の同時使用は不可。

C3 コネクタ

RJ45 モジュラーコネクタ RS-422 全二重通信 /
半二重 2400bps ノンパリティー ストップビッ
ト 1

C4 コネクタ

Dsub-25P-オス(DCE仕様) RS-232C 双方向通信
半二重 2400bps ノンパリティー ストップビッ
ト 1

注) C3 C4 の同時使用は不可。

注) C1 と C2 はロジカルには同じです。 C3 と C4 はロジカルには同じです。但し受信はどちらかの選択です。

P コネクタ P コネクタで添付の AC アダプターをご利用ください。

A コネクタ Line レベルのオーディオ信号が入力可能、DTMF シグナルをデコードします。この機能は Firmware の仕様により実装されます。(本機はノンサポート)

添付品

AC アダプター AC100V 入力 DC12V 1A 1ヶ

ケーブル接続

エンコーダとの接続

C2 コネクタ RS-485 接続

市販の CAT5 ケーブルと RJ45 で接続します。

8 番ピン A を エンコーダの A に接続

7 番ピン B を エンコーダの B に接続

C1 コネクタ RS-232C(dsub-9P)とエンコーダの接続

PTC-113/117 との接続

C3 コネクタ RS-485 の場合

C3 コネクタ カメラコントローラ

8 番ピン A を エンコーダの A に接続

7 番ピン B を エンコーダの B に接続

C4 コネクタ RS-232C の場合

DCE仕様 Dsub 25pin オス

2Pin TX

3Pin RX

1Pin 7Pin GND

別仕様の電源を使用する場合、DC-DC 品質としてください。

トランスと整流素子仕様では ROM 書き込みは不可能です。

取り扱い上の注意点。

コネクタはしっかりと螺子固定する。

一般的なケーブルを RS-232C で利用する場合には 15m 以内としてください。低容量タイプでは距離の延長が可能です。

パワージャック仕様

2. 1mm (内径) 5. 5mm (外径) φDC ジャック 極性は外マイナスです。

標準指定品 マル信無線電機製 MP-121M



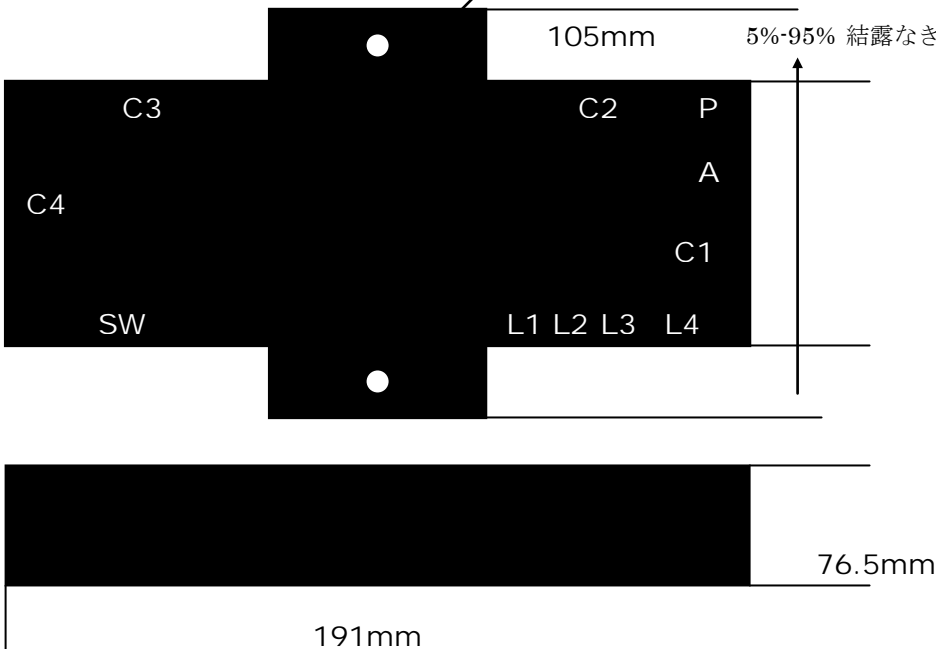
形状

φ5mm 穴間隔 89,mm

環境

作動時周囲温度 -5℃から+60℃

5%-95% 結露なきこと。



電源

AC100V アダプター添付 本体には9V から 12V までの安定化された電圧が必要です。消費電流 最大 200mA

34mm

Firmware 仕様 識別品番 PC0926C9-REV1.0

本装置は Pelco-D プロトコルを PTC-113/117 の仕様に準拠させることが目的である。

Firmware Version 1.0 では上記が実装されます。

LED の表示に関して。

L4 は電源投入初期化完了でカメラにコマンドを送出して OK の返答があるまで消灯。 タイムアウトで点灯。

L1 点灯はオーバーランエラー

L2 点灯はフレミングエラー

L3 点灯はパリティエラー

電源投入シーケンス。

運用上はどのような手順でも動作自体には支障はありません。が、以下の手順を推奨します。

PTC の電源投入、イニシャル動作(キャリブレーション)完了後に PC0926A-C6 の電源を投入。

PC0926A-C6 の L4 LED がこの時点灯しない場合は以下の事が考えられます。

PTC の機器異常 伝送経路の断など。

PC0926A-C6 の機器異常(電源異常)

フレミングエラーの回避、カメラパワーオフからオンでイニシャル動作完了後にサイド PC0926A-C9 の電源も OFF-ON によりエラー表示は消灯します。